



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月12日

上場会社名 エフビー介護サービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9220 URL <https://fb-kaigo.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)柳澤 秀樹
 問合せ先責任者 (役職名)経理財務部長 (氏名)清水 みどり (TEL)0267(88)8188
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|---|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 2,375 | — | 160 | — | 158 | — | 98 | — |
| 2022年3月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 99百万円 (— %) 2022年3月期第1四半期 —百万円 (— %)

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 | |
|---------------|-----------------|---|------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 37.80 | — | — | — |
| 2022年3月期第1四半期 | — | — | — | — |

- (注) 1. 当社は2022年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の数値及び2023年3月期第1四半期における対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------------|--------------|-----------|
| 2023年3月期第1四半期 | 百万円 8,597 | 百万円 2,721 | % 31.7 |
| 2022年3月期 | 7,698 | 2,008 | 26.1 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,721百万円 2022年3月期 2,008百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2023年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2023年3月期(予想) | — | 13.00 | — | 20.00 | 33.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,539 | 3.9 | 627 | △3.4 | 728 | 12.5 | 507 | △4.0 | 190.99 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------------|------------|------------|------------|
| 2023年3月期1Q | 2,676,000株 | 2022年3月期 | 2,200,000株 |
| ② 期末自己株式数 | — | 2022年3月期 | — |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2,604,153株 | 2022年3月期1Q | — |

(注) 当社は2022年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染状況の改善を受けて、個人消費の持ち直し等、景気回復が期待されました。一方で、ウクライナ情勢の緊迫、中国における経済活動の抑制、急激な円安進行などにより、資源・エネルギー及び食料品価格の引き上げが相次いでおり、足元では新型コロナウイルス感染が再拡大するなど、経済環境は依然として予断を許さない状況が続いています。

介護業界におきましては、高齢化率の上昇とともに、介護サービスの需要が益々高まりつつありますが、介護従事者については、厚生労働省が発表している「一般職業紹介状況」における「介護サービスの職業」での有効求人倍率は3.3と高い数値で推移しており、人財の確保が事業運営上での最重要課題となっています。

介護従事者の雇用拡大策の一つとして、2019年に介護職員等特定処遇改善加算が制定され、また、2021年4月には基本報酬の増額とともに、各種加算報酬が新設されました。更に、2022年2月から福祉・介護職員の更なる処遇改善を目的として、政府による「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、介護職員等の収入を3%程度引き上げるための措置として、介護職員処遇改善支援補助金及び福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金（処遇改善支援補助金）が実施されています。2022年10月以降は、当該交付金に相当する金額が介護報酬に組み入れられることが決定されています。

当社は安定雇用を行うべく労務費と介護報酬のバランスを見極めた上で、加算報酬要件を満たす取り組みを推進しております。

このような状況の下、当社グループは介護人材の確保のため、技能実習生や特定技能外国人採用の取り組みをはじめ、個々の職員の意識向上のための処遇改善及び接遇マナー、介護技術などの各種研修制度の細分化に努めるとともに、非正規社員から正規社員への登用などを実施しております。

また、従来より新型コロナウイルス感染対策本部を設置して、役職員全員で感染リスクを可能な限り抑制するための感染症対策を徹底し、利用者様に寄り添った介護サービスを継続できるよう最善を尽くしてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,375百万円、営業利益は160百万円、経常利益は158百万円、親会社株主に帰属する四半期利益は98百万円となりました。なお、2022年4月に東京証券取引所スタンダード市場に上場しており、上場に伴う費用を計上しております。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(福祉用具事業)

福祉用具事業においては、2022年5月に栃木県小山市に営業所を開設し、栃木県の県南地域の利用者様へのサービス体制の強化に取り組んでおります。また、前事業年度に事業部門の人事制度改革に取り組み、今年度より新規契約実績を重視する評価体系を運用しております。新規の契約獲得増加に伴い、レンタル売上高及び福祉用具販売も堅調に推移しています。レンタル商品では介護用電動ベッドや手すりの堅調な需要に合わせて、貸与品を継続的に仕入れました。

居宅介護支援においては、特定事業所加算の取得のため、ケアマネジャーの新規採用を進めた結果、5月より加算取得事業所は8事業所となりました。また、人員体制の整備とともに1人当たりの担当件数を増加させるため、他の居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、病院の地域連携室、住宅型有料老人ホーム等へのアプローチに注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の福祉用具事業の売上高は1,062百万円、セグメント利益は67百万円となりました。

(介護事業)

介護事業においては、利用者様の介護度の状況に応じて、安心してご利用いただけるサービス提供に取り組んでおり、介護度が中重度の方にもご利用いただけるよう、ケアマネジャーや病院等を中心に当社サービスの

紹介に注力しております。デイサービスにおいては、各事業所におけるリハビリテーションやアクティビティ等の特色を見直し営業活動を行った結果、稼働率が向上しております。このように、各サービスの特徴を利用者様やケアマネジャーに訴求することが、当社のサービス利用のきっかけになっております。また、訪問介護のサテライト事業所設置などにより、業務の効率化と経費の削減を図っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の介護事業の売上高は1,312百万円、セグメント利益は93百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ899百万円増加し、8,597百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ946百万円増加し、4,317百万円となりました。主な要因は、現金及び預金881百万円の増加によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ50百万円減少し、4,271百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物（純額）の減少47百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ186百万円増加し、5,875百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ290百万円増加し、2,518百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加300百万円、賞与引当金の減少26百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ104百万円減少し、3,357百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少112百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ712百万円増加し、2,721百万円となりました。主な要因は、2022年4月に東京証券取引所への上場に伴う増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ306百万円増加しております。また、親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円の計上に伴い利益剰余金が増加しております。自己資本比率は前連結会計年度末の26.1%から5.6ポイント増加し31.7%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日公表の予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,789,586 | 2,671,082 |
| 売掛金 | 1,335,221 | 1,382,977 |
| 商品 | 17,656 | 18,811 |
| 貯蔵品 | 14,459 | 13,271 |
| その他 | 214,001 | 231,058 |
| 貸倒引当金 | △167 | △171 |
| 流動資産合計 | 3,370,758 | 4,317,029 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 3,298,609 | 3,251,217 |
| その他（純額） | 496,986 | 499,154 |
| 有形固定資産合計 | 3,795,595 | 3,750,371 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 20,404 | 19,155 |
| その他 | 45,466 | 42,921 |
| 無形固定資産合計 | 65,870 | 62,077 |
| 投資その他の資産 | 460,447 | 459,271 |
| 固定資産合計 | 4,321,914 | 4,271,719 |
| 繰延資産 | | |
| 株式交付費 | 6,055 | 8,985 |
| 繰延資産合計 | 6,055 | 8,985 |
| 資産合計 | 7,698,728 | 8,597,734 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 147,446 | 162,567 |
| 短期借入金 | 400,000 | 700,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 463,298 | 457,388 |
| 未払法人税等 | 99,467 | 72,885 |
| 賞与引当金 | 376,015 | 349,877 |
| その他 | 741,547 | 775,791 |
| 流動負債合計 | 2,227,774 | 2,518,510 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,916,433 | 2,803,546 |
| 退職給付に係る負債 | 25,313 | 26,392 |
| 資産除去債務 | 190,609 | 191,046 |
| その他 | 329,644 | 336,505 |
| 固定負債合計 | 3,462,000 | 3,357,489 |
| 負債合計 | 5,689,774 | 5,875,999 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 190,000 | 496,544 |
| 資本剰余金 | 180,000 | 486,544 |
| 利益剰余金 | 1,638,867 | 1,737,316 |
| 株主資本合計 | 2,008,867 | 2,720,404 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 85 | 1,331 |
| その他の包括利益累計額合計 | 85 | 1,331 |
| 純資産合計 | 2,008,953 | 2,721,735 |
| 負債純資産合計 | 7,698,728 | 8,597,734 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|------------------|---|
| 売上高 | 2,375,017 |
| 売上原価 | 1,949,073 |
| 売上総利益 | 425,944 |
| 販売費及び一般管理費 | 265,446 |
| 営業利益 | 160,498 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 0 |
| 受取配当金 | 574 |
| 助成金収入 | 3,388 |
| その他 | 5,597 |
| 営業外収益合計 | 9,562 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 9,391 |
| その他 | 1,781 |
| 営業外費用合計 | 11,172 |
| 経常利益 | 158,887 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除売却損 | 0 |
| 特別損失合計 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 158,887 |
| 法人税等 | 60,439 |
| 四半期純利益 | 98,448 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 98,448 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|-----------------|---|
| 四半期純利益 | 98,448 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,245 |
| その他の包括利益合計 | 1,245 |
| 四半期包括利益 | 99,694 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 99,694 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月7日に東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年4月6日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式350,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ225,400千円増加しております。

また、2022年5月9日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式126,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ81,144千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が496,544千円、資本剰余金が486,544千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

(子会社株式の譲渡)

当社は、2022年6月30日の取締役会において、当社の連結子会社であるスマイル薬局株式会社(以下「スマイル薬局」)の全株式を、株式会社クオシア(以下「譲受会社」)に譲渡することを決議し、2022年7月1日付で株式譲渡契約を締結の上、2022年7月29日に株式譲渡を完了いたしました。なお、本株式譲渡に伴い、スマイル薬局は2023年3月期第2四半期より当社の連結子会社から除外されることとなります。

1. 株式譲渡の理由

当社グループは、介護保険法に基づき介護サービスをワンストップで提供する体制により、福祉用具事業と介護事業の2事業で事業拡大を推進しており、かつグループ経営の効率化を掲げ事業ポートフォリオの構築を図っております。このような中、スマイル薬局の経営基盤の強化による地域包括ケアシステムの構築に取り組んでまいりましたが、1店舗運営という状況において施策も限られていることから、譲受会社に事業を譲渡することが最適であると判断し、当社の保有するスマイル薬局の全株式を譲渡するものであります。

2. 異動する子会社の概要

| | |
|---------|---|
| (1)名称 | スマイル薬局株式会社 |
| (2)事業内容 | 薬局の経営及び医薬品等の販売 |
| (3)取引内容 | 当社は、当該会社との間に利用者様への処方箋調剤並びに服薬指導、資金貸借等の取引関係があります。 |

3. 株式譲渡の相手先の名称

株式会社クオシア

4. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

| | |
|--------------|-------------------------|
| (1)譲渡前の所有株式数 | 160株(持分比率：100%) |
| (2)譲渡株式数 | 160株(持分比率：100%) |
| (3)譲渡価額 | 譲渡先の意向により非開示とさせていただきます。 |
| (4)譲渡後の所有株式数 | 0株(持分比率：0%) |

5. 業績に与える影響額

本件が当期連結業績に与える影響額は軽微であると見込んでおります。